



一本道

相良中学校通信 No.19

令和5年9月28日

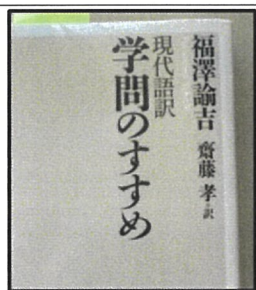
校長 吉田憲一

学校教育目標 「元気と挑戦で 成長を」

1 朝の読書、本を読む時間と借りる時間の設定

9月27日、本日の朝の読書は3年1組で読みました。朝読後の朝の会で担任の中満先生の話を紹介します。

「昨日の昼休みに本を借りました。そして、久しぶりに本を読みました。福沢諭吉の『学問のすすめ』です。この本おすすめです。それは、～」



朝の読書には4原則があります。それは「みんなでやる」「毎日やる」「好きな本でよい」「ただ読むだけ」です。現代人は情報過多ですが、本を読む時間はなかなかありません。本を読む時間と本を借りる時間を設定すれば、全ての児童生徒、そして大人が本を読むようになり、そして、本を楽しむようになります。朝の読書20分は、相良中学校の大きな特色であり、この時間は、生徒たちにとっても、大きな財産になると思っています。

2 2学年学級活動、テーマ「修学旅行での班別行動のルート」

9月22日、2年2組で船瀬先生の学級活動の授業を参観しました。めあて「話し合い活動を通して、班の意見をまとめよう」のもと、テーマ「修学旅行での班別行動（国際通り）のルート」について話し合いました。



約1カ月後に迫った沖縄の修学旅行についての話し合いです。いやがおうでも盛り

上がります。タブレットや地図を活用しながら、自分が行きたい場所や食べ物について班のメンバーに伝えたり、相手の意見を聞いて考えを広げたりしました。振り返りでの中村まひろ君の感想を紹介します。

「計画を決めるには、譲り合いが大事だけど、それじゃ決まらないので、自分から意見を出すことも大事なんだと思いました。それといろいろお店があって迷いました。とてもお腹がすきました。」

3 研究授業、3年1組道徳「将来の自分を見つめて」

9月28日、中満先生が3年1組で道徳の研究授業を行いました。テーマは「将来の自分を見つめて」でした。とても素敵な教材で、「好きな仕事か安定か悩んでいる」という大学生の投書に、4つの考え方（①やりたいことを選ぶ ②まずは現実的な生き方 ③ゆっくり探してみる ④悩み続けている）が掲載された教材です。先生の中心発問は「一番共感できた仕事選びの考え方はどれですか？」で、「選択+焦点化」の発問です。生徒たちは、ペア発表やグループ発表、全体発表で、培ってきた発表力をしっかり活用しながら「主体的に学ぶ姿」で授業を進めていました。キャリア教育の授業としても素敵な1時間でした。



相良中 HPへ

